

令和7年度 錦江町立錦江中学校グランドデザイン

日本国憲法 教育基本法
学校教育法 諸法規
中教審答申 新学習指導要領
本校の歴史 地理的条件など

鹿児島県基本目標
夢や希望を実現しともに未来を創る鹿児島の人づくり
～誰もが幸せや豊かさを感じられる地域や社会を目指して～

大隅地区基本目標
一隅を照らす
山と野と渚の教育
～心に火をともし、郷土に誇りをもち、夢を育む大隅の教育～

錦江町基本目標
夢や希望を実現し
ともに未来を創る人づくり
～心豊かでたくましい子供の育成～
ふるさとを誇る「森と水の教育」

生徒の実態及び保護者、地域の願い

学校満足度 R6(指数生徒 76, 保護者77, 地域 93, 職員 65) 生徒数(H20度 186 R7年度111→R10度77) 不登校率(R6度 4.8) 問題行動(R6度2) 学力(R6全国学調全国比国90,数95, 鹿児島学調県比R6(1年 100, 2年89, NRTR6(1年 47.8, 2年 43.7, 3年 46.2)) 体力(体力テスト R6 全国平均越種目数(8種目中)男子 1年 3.2 年 2,3年 1 女子 1年 4,2年 2,3年 4) 読書(年間24冊読破生徒率R5:24.1) 各種検定合格率 R6(英検3級 13名, 漢検3級5名, 数検3級3名, 鹿ジュニア検定合格率 25.9%) 「ボランティア10」達成者 R5(0) 部活動・クラブ加入率 R6(0.71) 各種入賞数R6(のべ142)名 生徒チャレンジ率R6(0.79) ⇒各項目の改善・向上⇒「学校力向上」



学校教育目標 未来を切り拓き、次世代を担う生徒を育成する。

生徒版教育目標 よく学び、よく鍛え、よく挑み、自立し、誰かの力になれる人になろう ～世のため、人のため、自分のため～

学校経営理念 職員、生徒の幸福を追求し、学校力向上に努め、保護者や地域の満足度を満たし、錦江町の発展に貢献する。

スローガン「『誇・光・力』錦江中!」「学びは喜び錦江中!」研究主題「未来を見通す力をもつ生徒の育成」

目指す学校像

- ・安心・安全な学校
- ・生き方を学ぶ学校
- ・生きる術・智慧を学ぶ学校
- ・地域とともにある学校

目指す生徒像〔校訓, 生徒会スローガン〕

自主: 課題解決に向けて、考えを深め、進んで行動実践する生徒(自主, 意欲)
友愛: 他人を思いやる気持ちを持ち、協調、協働する生徒(友愛, 誠実)
忍耐: 自分を律し、工夫しながら、ねらいの達成に向けて取り組める生徒(忍耐, 努力)
生徒会スローガン: 「勇往邁進 ～小さな一歩の積み重ね 次のステージへ～」

目指す教師像

- ・心身ともに健やかで、明朗活発な教師
- ・高い専門性と幅広い教養をもち、謙虚に学び続ける教師
- ・情熱と使命感にあふれ、教育的愛情をもつ(温蔵)教師
- ・人間性豊かで的確なコミュニケーション能力をもつ教師

授業や行事等を通して育てたい力「基礎的・汎用的能力」

キャリア教育
4能力

人間関係形成・社会形成能力: 他者を理解し、自らの役割を果たしつつ、よりよい集団づくりに貢献する力
自己理解・自己管理能力: 自己の長所や短所を踏まえ、自らを律しつつ、主体的に学び・活動する力
課題対応力: 課題に気づき、分析し、その解決に向けて、適切な手段を用い、あきらめずに取り組み続ける力
キャリアプランニング能力: 自らが果たすべき立場や役割を踏まえ、生き方を主体的に判断し考え、見通しをもって実現を目指す力



錦江スタンダード

学校経営の重点(教育目標達成のための方策)

共同体思考・集合知性を発揮できる組織

重点1 安心・安全な環境づくり

- ・安全点検及び即応、快適な環境の計画的整備
- ・通学路の安全確保 ・危機管理 ・感染熱中症対策
- ・居場所・良好な人間関係づくり, 相談活動充実, 相談事業の活用
- ・学校満足度向上, 丸い・インクな場, 業務改善 ・師弟同行による清掃活動, 校内緑化の推進



重点2 豊かな心身・非認知能力育成・人間性の向上

- ・人権同和教育の推進 ・多様性の理解・特別支援教育の充実
- ・道徳教育の充実(道徳科, 全教育活動で学び, 深い思考)
- ・生徒指導(発達指示的・課題予防的, 規範意識向上, ルールの徹底)充実
- ・生徒会の自治的活動推進及び学校行事企画運営
- ・健康・体力の維持増進 ・実践的(ボランティア)活動, 体験活動, 講話
- ・レジリエンス向上・自己有用感・肯定感・効力感伸張
- ・見通し, 行動振り返り・見直し・評価(AAR+C)



重点3 学び続ける意欲・学力向上・認知能力育成

- ・学ぶ意義の理解と授業改善(学習者主体授業作り, 振返の充実, 研究授業実施) ・自学力育成, 家庭学習習慣の確立 ・「個別最適な学びと協働的な学び」推進
- ・「読み取る力」「伝える力」「考える力」の向上 ・読書活動の推進
- ・過去問, Web, よか問等の計画的活用 ・効果的なICT活用



重点4 教職員の資質・指導力・人間関係力向上

- ・健康の保持増進 ・服務規律厳正確保
- ・業務改善, 1アクション1トライ ・職員研修充実(テーマ一般)
- ・学習指導力向上(研究授業, 授業公開, 授業参観, 他校訪問, 希望研等受講)
- ・学級経営力, 生徒指導力向上 ・教育技術の伝承, 習得



重点5 開かれた学校・家庭や地域等との連携

- ・学校運営協議会の機能化
- ・地域の「人」「もの」「こと」活用及び伸張を図る教育課程の編成
- ・説明責任, 情報開示, 情報発信
- ・PTA活動の充実及び連携, 家庭教育学級等の充実
- ・諸関係機関との連携, 協力



重点6 特色ある教育活動

- ・ふるさと教育・地域貢献活動
- ・キャリア教育の充実・推進 ・一人1プランター・花作物づくり
- ・メディアリテラシー及び情報モラル向上
- ・教育の動向や SDG を踏まえた活動
- ・小中連携及び錦江スタンダード活用推進



本校教育活動における行動指針

- 1安心・安全・コミュニケーション 2礼儀・品格 3生徒主体 4効率・生産性向上
(業務改善) 5インクルージョン 6変化・成長・改善 7AAR+C



グランドデザイン補足 用語説明(グランドデザイン図内のアンダーラインされた用語)

用語1 学校満足度 アンケート調査「現在の学校に満足していますか ①満足 ②まあまあ満足 ③やや不満 ④不満」のうち、①と②の回答者の割合

用語2 「ボランティア10」 年度内にボランティアに参加し、「私のふれあいボランティアカード」(県社会福祉協議会ボランティアセンター作成)に、その参加10回分のスタンプを押印された生徒

用語3 キャリア

- ① 人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見だしていく連なりや積み重ね
- ② 「働き方」と関連付けられた「生き方」であり、子供たちを自らの進路(生活と労働)を切り拓いて行く主体に育てることがキャリア教育の目的と言える。

用語4 共同体思考 相手(周囲の人たち)を仲間・同志、共同体の一員として受け止める脳の使い方

用語5 集合知性 個人では至らないような、天才知性にも勝る優れた力を発揮できる能力

用語6 非認知能力 テスト等では測ることができない個人の特性による能力。意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、自制心、創造性、コミュニケーション能力といった能力、全般を指す。学力(認知能力)と対照的に用いられる。

用語7 ウェルビーイング Well(よい)と Being(状態)が組み合わさった言葉で、「よく在る」「よく居る」状態、心身ともに満たされた状態を表す概念です。元々は「健康的な・幸せな」を意味する中世イタリア語「benessere(ベネッセレ)」を始源としている。

用語8 発達指示的・課題予防的生徒指導

発達指示的生徒指導とは、すべての生徒を対象に、個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的な資質・能力の発達を支えるよう支えるように働きかける活動である。

課題予防的生徒指導は、課題未然防止教育と課題早期発見対応から構成される。課題未然防止教育は、全ての生徒を対象に、生徒指導の諸課題の未然防止をねらいとした、意図的・組織的・系統的な教育プログラムを行うことである。課題早期発見対応は、課題の予兆行動が見られたり、問題行動のリスクが高まったりするなど、気になる一部の生徒を対象に、深刻な問題に発展しないように、初期の段階で諸課題を発見し、対応することである。

用語9 レジリエンス レジリエンス(resilience)とは、「回復力」「弾性(しなやかさ)」を意味する英語である。「レジリエントな」と形容される人物は、困難な問題、危機的な状況、ストレスといった要素に遭遇しても、すぐに立ち直ることができる。もともとは物体の弾性を表す言葉だが、それが心の回復力(精神的な強さの指標の一つ)を説明するものとして使われるようになってきている。

用語10 AAR+C A:Anticipation(見通し), A:Action(行動), R:Reflection(振り返り), このAARサイクルは、生徒に求められるコンピテンシー(狭義では「資質・能力」)を育てていくのに必要なプロセスと捉えられている。このプロセスを教師がしっかり見届けて、評価し成果や過程を認めることが必要になっていると考えるので、+C:Confirmation(見届け、評価)を加えている。

用語11 研究授業 「学習者主体の授業」への改善推進授業及び校内における研究授業。研修の充実のための取組を含む。

用語12 Web, よか問等 県教委や大隅教育事務所が作成する評価問題。前者は県学力向上Webシステム上に掲載されている。

用語13 1アクション・1トライ 業務改善のための具体的な取り組み事項。1アクションは学校単位、1トライは個人での取組

用語14 ふるさと教育・地域貢献活動 ふるさと教育とは、錦江町や鹿児島県の人材、物、出来事、催しなどを学んだり、それらを活用して必要な資質や能力を身につけるための教育活動。地域貢献活動とは、これまでの学習の生徒等を生かし、地域が必要としている援助や地域への恩返しの意味合いを込めた活動のこと。

用語15 メディアリテラシー及び情報モラル

メディアリテラシーとは、①コンピューターや先端的な情報通信機器を使いこなせる能力。②メディアに対して主体性を確立すること。コンピューターネットワーク・テレビ・音楽・映画・出版物などさまざまなメディアが伝える価値観・イデオロギーなどをそのまま受け入れることなく、主体的に解釈する力である。

情報モラルとは、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方や態度のこと

用語16 錦江スタンダード 錦江中学校区内の小・中学校が連携して作成した児童生徒の幼児期から高校生までの発達や成長の目安を一覧表にまとめたもの

用語17 インクルージョン 直訳で「包括」「包含」「包摂」などを意味する言葉である。すべての生徒・職員が尊重され、個々が能力を発揮して活躍できている状態を示す。ヨーロッパの社会福祉政策の理念が発祥である。